

平成 22 年度 事 業 報 告 書

福井市固有の歴史的環境の整備と管理及び関連する文化財等の保全ならびに歴史的文化活動の振興を図り、福井市における住民生活の充実と豊かで潤いのある個性的なまちづくりに寄与するため、平成 22 年度は次の事業を実施し、歴史のみえるまちづくりの推進に努めた。

【公益事業】（補助事業等）

1. 歴史的環境整備促進事業

（1）歴史的石碑設置

「島津家屋敷跡伝承地」解説石碑設置 1 基

「越前島津家文書」によれば、島津家の祖である忠久が越前守護職に任命され、また、忠久の長男の忠義（忠時）が生部荘の地頭に任命された。このとき、忠久の次男忠綱が代官として越前に下向し、生部町に屋敷を構え居住したと伝えられている。このように、初期の島津家と生部町は密接なつながりをもっていた。地元自治会（生部地区）の要望により、解説文等を表示した石碑を設置した。

設置場所 福井市生部町地係り

仕 様 【本体】桜ミカゲ石 W700 mm×H900 mm×D250 mm

【解説板】ステンレスホーローサイン W600 mm×H500 mm

【設置者名板】ステンレスホーローサイン W80 mm×H300 mm

2. 歴史的文化活動振興事業

（1）伝統行事支援

市内で継承されている伝統行事（文化財の指定を受けていないもの）の伝承事業を支援することによって、行事の継承と歴史のみえるまちづくり事業の一層の進展を図るため助成金を交付する。

募集期間 5 月 10 日～6 月 30 日

申請団体 なし

3. 普及啓発事業

（1）歴史人材バンク「語り部」の育成

福井市歴史ボランティアグループ「語り部」への申込み受付・派遣、研修・行事实施等に関わる事務、広報等を行った

会員数 : 68 人（平成 23 年 3 月 31 日現在）

ガイド実績 : 309 件（9,049 人）

講演件数 : 11 件（588 人）

行事：歩くごふくい（全6回）参加者 のべ 114名

市政広報他で参加を募り、語り部会員が講師となって福井市の史跡を
探訪した。

第1回 日之出地区（5月22日）

第2回 龍馬の足跡（6月20日）

第3回 一乗谷朝倉氏遺跡（7月25日）

第4回 足羽地区（9月26日）

第5回 柴田勝家とお市の方（10月24日）

研修：現地研修会（1回）座学研修会（3回）県外研修（1回）

歩くごふくい参加（6回）

その他研修：県観光ボランティア協議会主催県内・県外研修（各2回）

観光ボランティア全国大会（1回）

語り部だより：1,000部発行

（2）歴史パンフレットの発行

なるほど歴史カード「橋本左内」発行

福井ゆかりの歴史人物を紹介するため、写真やゆかりの地の地図、説明文などを
掲載したカードをこれまで9種発行している。今年度は幕末の福井藩士橋本左内のカ
ードを作成した。

部数：20,000部

配布先：観光案内所、公共施設、店舗、その他希望の方に随時配布

（3）協会ホームページの更新

事業広報や歴史の紹介、予算・決算の情報公開等のため、随時更新した。

（4）協会会報の発行

協会の活動を市民に知らせ、歴史のみえるまちづくり事業への理解を深めるため、会
報を発行した。

発行部数：12,000部

配布先：町内回覧（7,562部）・公共施設他

【収益事業】（受託事業）

1. 歴史的環境保全事業

（1）歴史的建造物の調査

登録文化財への申請を視野に置き、歴史的価値のある建造物の調査を実施。

- ① 対象物件 西藤島観音堂（福井市堀ノ宮1丁目）
 ＊元は福井藩の菩提寺運正寺にあり、浄光院（初代藩主結城秀康）の霊屋として、16代藩主松平春嶽によって安政3年に建てられた。昭和25年、現在地に英霊などをとむらう観音堂として移築された。
- ② 実施方法 歴史的建造物の研究を行っている福井工業大学吉田純一氏に依頼し、現地調査を実施。詳細なデータ収集を行い、平面図、断面図等も含めた報告書を作成。
- ③ 報告書 ①報告書 5部（カラー） ②図面・写真・報告書データ 1式

2. 歴史的文化活動振興事業

（1）子ども歴史クラブ育成

子供たちに郷土の歴史についての興味や関心を深める機会を提供し、郷土への愛情を育くむとともに、歴史を学ぶ楽しさを知ってもらうための歴史体験学習を実施。

＊会員数 23校 83人（男子 38人 女子 45人）

①「昔のくらしや遊び体験」

日 時：6月5日（土）・6（日）10:00～15:00

場 所：おさごえ民家園

参加者：59名

内 容：民家や民具を見学しながら昔の暮らしの様子学んだり、民家の竈を使って実際に炊飯をしておにぎり作りを行った。また手遊びやこま回しなどの昔の遊びをとおして、歴史や文化への理解を深めた。

②「発掘調査体験」

日 時：8月24日（火）・25日（水）9:30～11:30 13:30～15:30

場 所：中藤小学校建設予定地（高柳町）

参加者：59名

内 容：現場担当学芸員の指導のもと、実際に使われる道具を使用して発掘調査を体験。出土物や弥生時代の人々の生活についての説明を受けた。また、発掘を終了した遺構の見学も行い、当時の人々の生活への理解を深めた。

③「史跡散策会」

日 時：10月24日（日）9:00～15:30
場 所：大安禅寺（千畳敷）→水切古墳群→棗公民館（「月輪願念寺」
DVD視聴と昼食）→願念寺→免鳥長山古墳
参加者：33名
内 容：水切古墳・免鳥長山古墳など、普段訪れる機会がない郊外の史
跡を訪ね、福井の歴史の奥深さに触れることのできる活動とし
た。

④「古代のものづくり～勾玉を作ろう～」

日 時：2月5日（土）10:00～12:00 13:30～15:30
場 所：福井市立郷土歴史博物館講堂
参加者：54名
内 容：古代の装身具である勾玉を、郷土歴史博物館学芸員の指導のも
と、彫刻等に使用される滑石を削って製作した。

⑤平成22年度修了式

日 時：3月19日（土）13:00～14:00
場 所：織協ビル地下ホール
参加者：51名
内 容：修了記念品及び皆勤賞の授与、子歴クイズの実施

⑥平成23年度入会式

日 時：3月19日（土）14:30～15:30
新会員：38名（男子19名 女子19名）
参加者：37名
内 容：仮会員証・記念品の授与、23年度の活動説明他。

（2）歴史講座の開催

NHK大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」が平成23年1月から放送されるこ
とをうけ、お江、戦国時代をテーマとした歴史講座を開催した。

第1回講座

日 時：平成22年12月19日（日）13:30～15:30（開場13:00）
会 場：フェニックス・プラザ 小ホール
演 題：「戦国を生きた女たち～お市の方とその娘たち～」
講 師：小和田哲男氏（静岡大学名誉教授）
内 容：戦国時代史研究の第一人者であり、大河ドラマの時代考証もつ
とめている、小和田哲男氏の講演会を開催した。
参加者：377名

第2回講座

日 時：平成23年2月20日（日）13:30～15:30（開場 13:00）

会 場：フェニックス・プラザ 小ホール

演 題：「三姉妹をめぐる戦国武将」

パネリスト：北川 央 氏（大阪城天守閣）

高木叙子氏（安土城考古博物館）

太田浩司氏（長浜城歴史博物館）

土山公仁氏（岐阜市歴史博物館）

コーディネーター：角鹿尚計氏（福井市立郷土歴史博物館）

内 容：県外の博物館学芸員をパネリストとして招き、浅井三姉妹とゆかりの戦国武将である柴田勝家、織田信長、豊臣秀吉、浅井長政をテーマとしたパネルディスカッションを開催した。

参加者：350名

講演録：500部作成

（3）愛宕坂にぎわい事業関連業務

福井市が実施した「愛宕坂灯の回廊」の関連行事を開催した。

「第15回 愛宕坂灯の回廊」平成22年4月1日（木）～18日（日）

① 夜間開館等受付・管理業務

日 時：4月1日（木）～18日（日） 17:15～21:00

観覧者：愛宕坂茶道美術館 夜間 275人 日中 1,306人

橘曙覧記念文学館 夜間 314人 日中 831人

② 抹茶サービス（有料）

日 時：4月1日（木）～18日（日） 10:00～16:00（金土日は20:00まで）

人 数：757人（内、夜間 98人）

③ 愛宕坂桜音楽会2010

日 時：4月11日（日） 15:00～15:30 17:30～18:00

場 所：橘曙覧記念文学館1階ロビー（雨天のため館内での開催となった）

出 演：アコースティックギタリスト わたなべゆう

参加数：90名（2回計） 当日受付

「愛宕坂灯の回廊一秋一」平成22年9月24日（金）～26日（日）

① 夜間開館等受付・管理業務

日 時: 9月24日(金)～26日(日) 17:15～21:00
観覧者: 愛宕坂茶道美術館 夜間 111人 日中 71人
橘曙覧記念文学館 夜間 54人 日中 53人

② 抹茶サービス(有料)

日 時: 9月24日(金)～26日(日)10:00～20:00
人 数: 113人

③ 関連展示 細川康夫の「AKARI展」

日 時: 9月24日(金)～26日(日)9:00～21:00(24日は18:00～)
内 容: 幻想的な磁器の灯りの展示
所蔵者: クラフト作家 細川康夫
観覧者: 699人

④ コンサート開催 揚琴&琵琶コンサート「悠久なる弦のしらべ」

日 時: 9月24日(金) 18:30～19:40
場 所: 青松園
出 演: 【揚琴】付虹(フ・ホン) 【琵琶】何歆(カ・カン)
参加数: 62名 事前申込み・抽選(応募数149名)

3. 普及啓発事業

(1) 歴史観光ボランティア人材育成事業(ふるさと雇用再生特別基金事業:職員1名)
歴史観光ボランティア育成のため、新規会員の募集、研修会を実施した。

①新会員の募集

募集方法: 市政広報掲載 6月10日号
福井新聞「ぷりん」掲載

②講習・研修会

(1) 語り部会員講師による研修会(講演) 3回

演題: 「朝倉氏とその時代」「お市の方と三姉妹」「幕末の福井」
参加者: 21年度入会者 のべ14名 今年度応募者 のべ20名

(2) 語り部会員講師による研修会(現地研修) 3回

場所: 一乗谷朝倉氏遺跡・福井市中心部・足羽山周辺
参加者: 21年度入会者 のべ17名 今年度応募者 のべ15名

(3) 語り部会員講師によるガイド研修

内容: 「語り部」としての接遇について
参加者: 10名

③会員相互研修

北の庄資料館でのガイド内容を充実させるための展示資料の作成や、来館者への説明を実際に行い研修の一環とした。

④新会員研修用のモデルコース作成

実地研修の素材とするため基本的なガイドコースを設定し、資料を作成した。

(2) まちなか観光ガイドの配置

北の庄城址公園に、福井市歴史ボランティアグループ「語り部」の会員を配置し、観光客などの希望者を対象に、「江」ゆかりの地のガイドを実施。

実施日時：平成22年8月から平成23年3月までの土曜、
日曜、祝日 全76日(午前10時～午後3時)

配置数：のべ 189名

ガイド実績：4,491名(74件)

4. 愛宕坂茶道美術館の管理運営

(1) 展示に関すること

①企画展「小堀遠州と綺麗さびの世界」

期 間：平成22年4月22日(木)～7月7日(水)

会 場：企画展示室

概 要：江戸時代の大名茶人小堀遠州が創り上げた独自の美意識「綺麗さび」をテーマに、遠州直筆の掛軸や「綺麗さび」の影響を受けた茶道具などを展示した。

展示品：小堀遠州筆 竹自画賛、井戸茶碗銘「山路」小堀家伝来 ほか 計18点
観覧者数：1,148人

②企画展「夏の文様」

期 間：平成22年7月10日(土)～9月21日(火)

会 場：企画展示室

概 要：牡丹や鉄線、蟹などが描かれた茶道具や、水辺の風景が描かれた掛軸、古染付の道具など夏らしい情趣にあふれた資料を展示した。

展示品：岡本豊彦画瀧図賛大綱宗彦、砧青磁双魚文様小盤 ほか 計18点
観覧者数：636人

③企画展「千家の人々」

期 間：平成22年9月24日(金)～12月15日(水)

会 場：企画展示室

概 要：千利休をはじめ、千少庵や千宗旦など歴代の千家の人々が残した茶杓や棗、
または書などを展示し千家のたどった茶の湯の歴史を紹介した。

展示品：千利休自筆消息芝山監物宛、千宗旦作茶杓共筒 銘「鹿のこ」ほか計 20 点

観覧者数：1,834 人

④企画展「戦国武将と茶の湯」

期 間：平成 22 年 12 月 18 日（土）～平成 23 年 3 月 2 日（水）

会 場：企画展示室

概 要：織田信長や古田織部など戦国時代に名を残した武将たちと茶の湯との関わり
を紹介し、彼らの筆跡が残された書画やゆかりの茶道具を展示した。

展示品：古田織部筆南蛮釣瓶水指伝来書消息、織部幾何文様火入 ほか 計 16 点

観覧者数：533 人

⑤ 特別展「～鈴木一コレクション～茶の湯と古渡り更紗」

期 間：平成 23 年 3 月 6 日（日）～同年 4 月 17 日（日）

※前期 3 月 6 日～3 月 31 日、後期 4 月 1 日～4 月 17 日

会 場：企画展示室

概 要：インドからヨーロッパに伝播し、室町時代から江戸時代中期にかけて日本
に渡来した「古渡り更紗」をテーマに、日本の茶道文化との結びつきをふ
まえて多種多様な更紗の世界を紹介した。展示品はすべて、京都・鈴木時
代裂研究所の鈴木一コレクションから借用した。

展示品：格天井更紗伊藤博文公旧蔵、更紗手鑑今村銀行頭取旧蔵 ほか計 61 点

観覧者数：521 人（平成 23 年 3 月末日まで）

関連企画：ギャラリートーク「更紗の歴史とその魅力」

日 時：平成 23 年 3 月 6 日（日）10:00～11:30 （前期展示の解説）

*23 年度開催：平成 23 年 4 月 3 日（日）14:00～15:30 （後期展示の解説）

会 場：企画展示室

概 要：鈴木時代裂研究所所長で故鈴木一氏子息の鈴木一弘氏を迎え、展示室
にてギャラリートークを行った。

参加者：20 人（3 月 6 日分）

関連企画：「更紗の茶会」（23 年度開催）

日 時：平成 23 年 4 月 3 日（日）10:00～11:00 12:00～13:00

13:30～14:30 15:00～16:00

会 場：茶室「尚庵」

概 要：特別展の内容に合わせ、茶室にて更紗を用いた煎茶の茶会を開催。

席 主：徳山圭峰氏（文房流晴香会）

定 員：各席 6名

総観覧者数：5,929人(平成23年3月末まで)

※内、平成21年度特別展「香りの道具展」4月1日～18日の観覧者数1,257人を含む。

(2) イベント・講座に関すること

①体験講座「男のための茶道体験講座」

日 時：平成22年6月20日(日) 10:00～11:00 11:30～12:30
13:30～14:30 15:00～16:00

会 場：茶室「尚庵」

講 師：阿部宗忻氏(裏千家茶道教授)

概 要：茶道初心者で男性の方を対象に茶道体験講座を開催した。茶室にてお菓子やお茶の頂き方や、茶道の心得などを学んだ。

受講者数：25人

②体験講座「女子のための和のおもてなし講座」

日 時：平成22年11月23日(火・祝) 10:00～12:00 13:30～15:30

会 場：4階会議室

講 師：近藤宗美氏(裏千家準教授)

概 要：20代から30代まで茶道初心者の女性を対象に、盆略点前によるお茶の点て方やお菓子のいただき方、香の聞き方を学ぶ講座を行った。

受講者数：24人(申込者数29人)

③体験講座「日本茶をたのしむ」

日 時：平成23年1月23日(日) 10:00～13:30 14:00～15:30

会 場：4階会議室

講 師：五井美紀氏(日本茶インストラクター)

概 要：「自分の好みに合った日本茶をおいしく淹れる」をテーマに、温度の異なるお湯で二種類の日本茶を淹れ、その味や色の違いから日本茶の性質を学ぶ講座を行った。

受講者数：36人(申込者数56人)

④体験講座「和の手しごと～古帛紗をつくる～」

日 時：平成23年3月27日(日) 10:00～12:00 14:00～16:00

会 場：4階会議室

講 師：丹羽陽光氏(仕履作家)

概 要：「針と糸を使って、茶の湯の小物を手作りする」をテーマに、「名物裂」を用いて茶碗を運ぶ際に用いる「古帛紗」を製作した。

受講者数：27人(申込者数31人)

⑤イベント「愛宕坂をゆかたで歩こう」※橘曙覧記念文学館共催

日 時：平成 22 年 7 月 30 日（金）～8 月 1 日（日）

概 要：フェニックス祭りにあわせ、浴衣（和装等）で来館された方は入館無料とした。ロビーでは、点前席を設け、夏らしい茶道具の取り合わせで呈茶を行った。

参加者数：5 人（和装入館者数）

イベント・講座参加者数合計：117 人

(3) 研修室および茶室貸出について

研修会議室：135 件 1,794 人

茶 室：33 件 1,546 人

貸室総利用者数：3,340 人

総入館者数：9,269 人

※イベント・講座参加者数を含む

5. 橘曙覧記念文学館の管理運営

(1) 展示に関すること

①開館 10 周年記念企画展

「福井市春嶽公記念文庫名品から知る 松平春嶽と橘曙覧の交流」

期 間：平成 22 年 4 月 29 日（木）～6 月 13 日（日）

会 場：第 1 展示室

概 要：福井市春嶽公記念文庫の橘曙覧関連資料より、松平春嶽と曙覧の交流がうかがえる資料を中心に取り上げ、年代順にご紹介した。

展示品：橘曙覧筆和歌短冊「花めきて云々」（福井市春嶽公記念文庫蔵）ほか計 17 点

観覧者数：6 5 6 人

②館蔵品展「開館 10 年のあゆみ①新収蔵資料を中心に」

期 間：平成 22 年 6 月 16 日（水）～7 月 19 日（月）

会 場：第 1 展示室・映像コーナー

概 要：開館 10 年を迎えたことから、第 1 弾として近年、寄贈及び寄託を受けた資料を紹介し、あわせて過去 10 年の間に開催した特別展ポスターの展示を行った。

展示品：橘曙覧筆屏風「山吹」ほか 計 16 点

観覧者数：3 9 1 人

③企画展「開館 10 年のあゆみ②曙覧から子孫へ」

期 間：平成 22 年 7 月 21 日（水）～9 月 2 日（木）

会 場：第 1 展示室

概 要：館蔵品展第 2 弾として橘曙覧の子孫のもとに伝わった資料を中心に展示を行い、また当館の建設前まであった料亭「五嶽楼」について紹介した。

展示品：越智通兄筆橘曙覧肖像画ほか 計 20 点

観覧者数：4 2 1 人

④企画展「開館 10 年のあゆみ③あけみの本、短歌の本」

期 間：平成 22 年 9 月 4 日（土）～10 月 3 日（日）

会 場：第 1 展示室

概 要：館蔵品展第 3 弾として、近年までに出版された橘曙覧に関するさまざまな書籍に注目し、所蔵本を 10 のテーマに分けて紹介した。

展示品：橘曙覧（尚事）筆短冊「鷹狩」、橘曙覧関連書籍ほか 計 52 点

観覧者数：4 1 4 人

⑤秋季特別展『「智恵子飛ぶ」—津村節子が描く高村光太郎・智恵子の愛の軌跡—

期 間：平成 22 年 10 月 8 日（金）～11 月 28 日（日）

会 場：第 1 展示室・第 2 展示室

概 要：津村節子著『智恵子飛ぶ』を通し、高村光太郎と智恵子の愛の軌跡をたどった。小説とともに二人の生涯を紹介し、あわせて津村氏の智恵子への思いや発表後の作品の広がりなどにも注目した。また、光太郎の『智恵子抄』所収の詩とともに、再現された智恵子の「紙絵」を展示した。

展示品：『智恵子抄』（初版、中野重治文庫記念坂井市立丸岡図書館蔵）、「智恵子飛ぶ」津村節子自筆原稿（津村節子氏蔵）、「智恵子飛ぶ」調査時資料（津村節子文学室蔵）、智恵子紙絵（写真額、高村規氏撮影）ほか 計 60 点

観覧者数：1, 5 7 1 人

関連企画：朗読会『「智恵子抄」の世界』

日 時：平成 22 年 11 月 14 日（日） 14:00～15:00

会 場：1 階ロビー

朗 読：人村朱美氏（舞台俳優）

参加者：4 0 名

内 容：高村智恵子の生涯をたどりながら、小説『智恵子飛ぶ』の一部及び『智恵子抄』詩の朗読を行った。

⑥企画展「曙覧をめぐる女性たち—福井藩奥老女・芳野菅子への書簡より—

期 間：平成 22 年 12 月 1 日（水）～平成 23 年 3 月 15 日（火）

会 場：第1展示室

概 要：福井藩奥老女・芳野菅子宛ての書簡から福井藩大奥との関係や女性たちへの和歌の指導などについてさぐる内容とした。

展示品：橘曙覧筆芳野菅子宛書簡（福井県立歴史博物館蔵）ほか 計14点

観覧者数：583人

関連企画：「曙覧の書簡をよむ」

日 時：平成23年1月16日（日）13：30～14：30

会 場：図書閲覧室

内 容：展示解説後、参加者とともに書簡の文字や内容を解説する講座を行った。

参加者数：4名

⑦春季特別展「世界のしかけ絵本～本から飛び出すワンダーランド～」

期 間：平成23年3月19日（土）～5月8日（日）

会 場：第1展示室・図書閲覧室

展示協力：有馬玩具博物館、(株)大日本絵画、(有)エプロンおばさん

概 要：19世紀ごろに世界で制作されたしかけ絵本から現代の美しい絵本まで幅広く取り上げた。また、図書閲覧室では、しかけ絵本を手にとって読むことができるコーナーを設けた。

展示品：『The City Park』（ロタール・メッゲンドルファー作、西田明夫事務所蔵）、『ANIMAL TALES』（アーネスト・ニスター作、大日本絵画蔵）ほか

計46点

観覧者数：1,286人（平成23年3月末まで）

総観覧者数：6,762人（平成23年3月末まで）

※内、平成21年度事業春季特別展「作家の書斎～愛用品から知る7人の素顔～」

4月1日～25日間の観覧者数は1,440人

(2) イベント・講座の開催

①短歌講座「たのしい短歌入門」全3回

日 時：平成22年7月3日（土）、8月7日（土）、9月4日（土）13:30～15:30

会 場：愛宕坂茶道美術館 4階会議室

講 師：市村善郎氏（福井県短歌人連盟委員長）

概 要：短歌初心者を対象とした入門講座を開催。短歌鑑賞や実作指導などを行った。

受講者：のべ58人（応募者：23人）

②体験講座「越前和紙でミニ手帖づくり」

日 時：平成 22 年 9 月 11 日（土）10:00～12:00 14:00～16:00

会 場：愛宕坂茶道美術館 4 階会議室

講 師：東野早奈絵氏（越前和紙手漉き職人、和紙作家、「紙日和」主宰）

概 要：大判の手漉き越前和紙から一冊の手帖を作る講座を行った。

参加者：27 人

③イベント「愛宕坂をゆかたで歩こう」※愛宕坂茶道美術館共催イベント

日 時：平成 22 年 7 月 30 日（金）～8 月 1 日（日）

概 要：フェニックス祭りにあわせて、浴衣（和装等）で来館された方は入館無料とした。30 日は花火大会開催のため夜間開館し、庭園を観賞の場として提供した。

参加者：51 人（花火観賞者）

④朗読会「冬の朗読会～芥川龍之介を読む～」

日 時：平成 22 年 12 月 19 日（日） 14:00～15:30

会 場：1 階ロビー

朗読作品：芥川龍之介著『蜜柑』（1919 年）、『魔術』（1920 年）

出 演：朗読 重盛政史氏（福井放送アナウンサー）

演奏 羽生尚代氏（ファゴット奏者）

概 要：日本文学に親しんでいただくことを目的に、大人向けの朗読会を開催芥川龍之介の短編小説 2 作品の朗読と木管楽器ファゴットの演奏を行った。

参加者：40 人

⑤文学講座「府中の文化と橘曙覧」

日 時：平成 23 年 2 月 27 日（日）13:30～15:00

会 場：愛宕坂茶道美術館 4 階会議室

講 師：齊藤忠征氏（越前市史編さん委員長）

概 要：橘曙覧と府中の文化について、歴史的な背景をさぐるとともに、交流のあった人物から受けた影響などをさぐる講座を行った。

受講者：28 人

イベント・講座参加者数:204 人(のべ人数)

(3) 研修室貸出について

件 数：5 件（うち減免 0 件） 利用者数：51 人

総利用者数：6,813 人

※イベント・講座参加者数を含む。

(4) 橘曙覧史跡めぐり～お伊勢参りの足跡をたどって今庄宿まで～

日 時：平成 22 年 11 月 6 日（土） 8:30～16:30

講 師：河合清士氏（元橘曙覧記念文学館館長）

コース：橘曙覧記念文学館→妙観寺→生家跡（車中）→藁屋跡→丹巖洞→下荒井・茶屋石碑→鯖江市・神明社→越前市・天保救荒碑ほか→吉野瀬川→伊藤家（近江屋薬局）、山本家（車中）→かめや（昼食）→南越前町・妙泰寺→今庄宿、京藤家他→橘曙覧記念文学館

参加者：24人（応募者 78 人・抽選）

(5) 第16回平成独楽吟実施

【募集】

募集期間：平成 22 年 10 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日

募集内容：①平成独楽吟部門

「たのしみは…」ではじまり「…とき」で終わる短歌

*歌にあわせた絵付はがきの募集を実施（同部門のみ）

②一般短歌部門 自由詠の短歌

募集方法：市政広報掲載・ポスター、チラシ配布・NHKによるラジオ放送・福井新聞掲載・公募雑誌掲載（携帯電話での受付有）・インターネット他

賞及び副賞（各部門）

橘曙覧賞 1首（賞状・副賞5万円）

福井県知事賞・福井市賞・福井県教育委員会賞・福井市教育委員会賞

福井新聞社賞 各1首（賞状・副賞2万円）

日本放送協会福井放送局長賞・福井中央郵便局長賞

各1首（賞状・副賞2万円相当）

（財）歴史のみえるまちづくり協会理事長賞 1首（賞状・副賞2万円）

熊本市賞（平成独楽吟部門のみ） 1首（賞状・特産品1万円相当）

学校賞（福井中央ライオンズクラブ） *平成独楽吟部門のみ

2校（賞状・図書カード 5千円）

秀作 平成独楽吟部門・一般短歌部門 各20首

【募集結果・審査】

(1) 平成独楽吟の部

審査員長：定道明（詩人・作家）

審査員：佐孝石画（俳人）橋谷桂子（童話作家）足立尚計（歌人）

応募総数：4,449 首

内訳：はがき 3,950 首 インターネット 298 首 携帯 201 首

審査会：日時 2月9日（水）13:00～

場所 愛宕坂茶道美術館4階会議室

内容 4名の審査員ごとに事前に選出した作品の中から、橘曙覧賞、他入賞作品、学校賞、秀作を決定

(2)一般短歌部門

審査員長：福島泰樹(歌人)

審査員：市村善郎(歌人) 喜多昭夫(歌人) 足立尚計(歌人)

応募総数：1,162首

内訳：はがき 1,047 インターネット 94首 携帯 21首

審査会：日時 2月5日(土)10:00～

場所 愛宕坂茶道美術館 4階会議室

内容 審査員長を除く3名の審査員ごとに事前に選出した作品の中から、入賞、秀作候補作を決定。橘曙覧賞他入賞各賞、秀作の決定は、後日審査員長により行った。

【表彰式】

日時：平成23年3月13日(日)13:30～15:00

場所：福井市橘曙覧記念文学館 1階ロビー

出席者：橘曙覧賞 1名 福井県知事賞 2名

福井県教育委員会賞 1名 福井市教育委員会賞 1名

福井新聞社賞 1名 日本放送協会福井放送局長賞 1名

福井中央郵便局長賞 1名 学校賞 1名

秀作 10名

内容：各部門の表彰および審査員長による総評

【作品展示】

場所：橘曙覧記念文学館 2階映像コーナー

【作品集】

内容：各部門の入賞・秀作の作品、総評を掲載

部数：500部

5. 会議開催

(1) 理事会

第1回 平成22年5月25日(火)

理事長・副理事長・常務理事の選任について

評議員の選出について

平成21年度事業報告・決算について

公益財団法人への移行について

- 第2回 平成23年3月29日(火)
評議員の選出について
平成23年度事業計画(案)について
平成23年度収支予算(案)について

(2) 評議員会

- 第1回 平成22年5月25日(火)
理事の選任について
平成21年度事業報告・決算について
公益財団法人への移行について
- 第2回 平成23年3月29日(火)
理事の選任について
平成23年度事業計画(案)について
平成23年度収支予算(案)について

(3) 評議員会専門部会

- 振興部会 平成22年6月21日(月)
歴史ボランティアグループ「語り部」について
子ども歴史クラブの活動実施について
伝統行事への支援について
- 整備促進部会 平成22年6月22日(火)
歴史的石碑の設置について
- 普及啓発部会 平成22年6月22日(火)
歴史講座の開催について
歴史パンフレット・カードの作成について
- 企画運営部会 平成22年6月23日(水)
第16回平成独楽吟募集事業について
愛宕坂茶道美術館・橘曙覧記念文学館の管理運営
について